

第4章 調査票

令和元年度 男女平等・男女共同参画に関する市民意識及び実態調査票

—ご協力をお願いします—

■記入上のお願い

- ①このアンケート調査は、宛名ご本人にお願いするものです。必ずご本人がお答えください。
- ②この調査票に直接記入し、回答をお願いします。回答は、あてはまる番号に○をつけてください。各設問によって○をつける数が異なりますので、その都度書いてある記入方法に沿ってご記入ください。
- ③各設問は、令和2年1月1日を基準日としてお答えください。
- ④このアンケート調査は無記名です。調査結果は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

まず、男女平等・男女共同参画に関連して、あなたのお考えなどについて、おたずねします

問1 あなたは現在、つぎのような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

(1) から (8) のそれぞれについて、あてはまる番号1つずつに○をつけてください。

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が 優遇されている	平等になっている	どちらかといえば 女性の方が 優遇されている	女性の方が非常に 優遇されている	わからない
(1) 家庭生活	1	2	3	4	5	6
(2) 職場	1	2	3	4	5	6
(3) 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
(4) 地域社会	1	2	3	4	5	6
(5) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(6) 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
(7) 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
(8) 社会全体	1	2	3	4	5	6

問2 つぎのような考え方について、あなたの現在のご意見に最も近いものはどれですか。
 (1)から(8)のそれぞれについて、あてはまる番号1つずつに○をつけてください。

	賛成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	反対	わからない
(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
(2) 女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児・介護は女性がきちんとすべきである	1	2	3	4	5
(3) 男性も家事・育児・介護に積極的に参画した方がよい	1	2	3	4	5
(4) 女性は経済的に自立する必要はない	1	2	3	4	5
(5) 結婚は個人の自由だから、人は結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
(6) 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
(7) 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5
(8) 妻は当然夫の墓に入るものだ	1	2	3	4	5

問3 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 女性は職業をもたない方がよい
2. 結婚するまでは、職業をもつ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
5. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
6. その他 [具体的に:]
7. わからない

問4 あなたは、「男は仕事、女は家庭」といった性別役割分担意識を理由に、自分の希望とは違う選択をせざるを得なかったことがありましたか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 進学のときにあった
2. 就職のときにあった
3. 仕事を続けたかったが、辞めざるを得なかったことがあった
4. 管理職等へ昇進したかったが、あきらめざるを得なかったことがあった
5. 上記以外の際ににあった [具体的に:]
6. なかった

問5 あなたは、「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」を知っていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 内容まで知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 知らない

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について、おたずねします

問6 「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）とは、男性であっても女性であっても、「ワーク」（仕事）と「ライフ」（家庭や子育て、介護、地域活動、趣味活動など）のバランスを主体的に選択できる社会を実現しようとする考え方です。こうした考えにあなたは賛成ですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらでもない
4. どちらかといえば反対
5. 反対

問7 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、あなたの希望に最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

問8 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、あなたの現実（現状）に最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない

問9 これから男女がともにワーク・ライフ・バランスを実現しやすい社会環境をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 男女ともに労働時間の短縮を図ること
2. 男性の家事・育児・介護を進めること
3. 男女の雇用機会を均等にすること
4. 職場での男女の昇進、待遇の格差をなくすこと
5. パートタイムなどの女性の労働条件を向上させること
6. 再就職を希望する女性のための講座、セミナーを充実させること
7. 出産後も職場復帰できる再雇用制度を充実させること
8. 保育園、学童保育などの育児環境を充実させること
9. 介護、育児休業制度などの普及を図ること
10. ホームヘルパーや福祉施設を充実させること
11. その他 [具体的に：]
12. とくにない
13. わからない

あなたの日頃の生活について、おたずねします

問10 結婚している方（事実婚*の方もお答えください）におたずねします。

家庭生活での、夫婦の役割分担はどのようになっていますか。

(1) から (12) のそれぞれについて、あてはまる番号1つずつに○をつけてください。

*本調査では、婚姻届は出していないが、パートナーと共同生活をしていることを「事実婚」と呼びます。

	夫の役割	どちらかといえ 夫の役割	夫と妻と同程度	どちらかといえ 妻の役割	妻の役割	該当しない・ わからない
(1) 家庭の重大事項の決定	1	2	3	4	5	6
(2) 家計の管理（やりくり）	1	2	3	4	5	6
(3) 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
(4) 食事のあとかたづけ	1	2	3	4	5	6
(5) 洗濯	1	2	3	4	5	6
(6) 掃除	1	2	3	4	5	6
(7) 買い物	1	2	3	4	5	6
(8) 育児（乳幼児の世話）	1	2	3	4	5	6
(9) 子どものしつけ	1	2	3	4	5	6
(10) 子どもの教育	1	2	3	4	5	6
(11) 老親の介護・看護	1	2	3	4	5	6
(12) 自治会等地域でのつきあい	1	2	3	4	5	6

問11 お年寄りの身の回りのお世話（介護など）は、男女どちらが担うのがよいと思いますか。
あなたのご意見に最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 男性がする方がよい
2. 男性が中心で女性も手助けするのがよい
3. 女性も男性もともにするのがよい
4. 女性が中心で男性も手助けするのがよい
5. 女性がする方がよい
6. その他 [具体的に：]
7. わからない

子育てや教育について、おたずねします

問12 あなたは、自分の子どもにどのように育ててほしいと思いますか。女の子・男の子に分けて、とくに大切だと思う番号を3つまで選び の中に記入してください。子どものいない方も子どもがいると仮定してお答えください。
* 同じ番号を女の子、男の子の両方に記入しても結構です。

(1) 女の子

(2) 男の子

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 思いやりのある人 2. 素直な人 3. 責任感のある人 4. 知性豊かな人 5. 独立心のある人 6. 社会的地位のある人 7. 身の回りのことは自分でできる人 8. 家庭を大事にする人 | <ol style="list-style-type: none"> 9. 自分の思ったことをやり遂げる人 10. 社会に貢献する人 11. 判断力のある人 12. 情緒豊かな人 13. 国際的視野のある人 14. 言葉づかいかや礼儀作法がいい人 15. 経済力のある人 16. その他 [具体的に：] |
|---|--|

問13 男女平等・男女共同参画社会を実現するためには、学校における教育が重要であるといわれています。つぎの中から、あなたが重要だと思うものの番号に3つまで○をつけてください。

1. 出席簿や座席などを男女で分ける習慣をなくすこと
2. 学校生活の中で、児童・生徒の男女による役割分担をなくすこと
3. 生活指導や進路指導において、男女の別なく能力や個性を生かせるようにすること
4. 男女平等・男女共同参画の研修を通して教師自身の意識を変えていくこと
5. 学習や指導の場で、男女平等・男女共同参画の意識を育てていくこと
6. 校長・副校長などに女性を積極的に登用すること
7. PTAなどを通じ、男女平等・男女共同参画への理解と協力を深めること
8. その他 [具体的に：]
9. とくにない
10. わからない

暴力（DVなど）について、おたずねします

問14 現在、配偶者やパートナー、恋人がいる方、または過去にいた方におたずねします。
 あなたは、これまでに配偶者やパートナー、恋人などから、次のような行為をされたことがありますか。（1）から（9）のそれぞれについて、あてはまる番号1つずつに○をつけてください。

行 為	経 験		
	何 度 も あ っ た	1 ・ 2 度 あ っ た	全 く な い
(1) なぐったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた	1	2	3
(2) あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
(3) いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3
(4) 大声でどなられた	1	2	3
(5) 何を言っても長時間無視し続けられた	1	2	3
(6) 交友関係や電話・メールを細かく監視された	1	2	3
(7) 見たくないのに、アダルトビデオやポルノ雑誌を見せられた	1	2	3
(8) 「だれのおかげで、お前は食べられているんだ」などと、人格を傷つけられるようなことを言われた	1	2	3
(9) 生活費を渡されなかった	1	2	3

↓
 ((1) から (9) のうち、ひとつでも
 1、2に回答の方)
 付問1へお進みください

付問1 問14で(1)から(9)のうち、ひとつでも1、2に回答した方におたずねします。
 あなたは、暴力を受けたとき、どなたかに相談をしましたか。また、その結果、どのようなアドバイスを受けてましたか。相談先(①から⑧)と、その際受けたアドバイス(1から7)について、それぞれあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

相談先	相談した結果、受けたアドバイス						
	まともに(真剣に)取り合ってもらえなかった	あなたが我慢すればよいと言われた	あなたは悪くないと言われた	相談先の機関で引き続き相談を続けることを勧められた	逃げた(別れた)ほうがいいと言われた	専門機関(弁護士、警察、医師、女性センター、子育て総合センターなど)を紹介された	その他「具体的に…」
① 家族・親族	1	2	3	4	5	6	7 []
② 友人・知人	1	2	3	4	5	6	7 []
③ 同じような経験をした女性・男性	1	2	3	4	5	6	7 []
④ 家庭裁判所、弁護士、警察など	1	2	3	4	5	6	7 []
⑤ 市役所の相談窓口、女性センター、子育て総合センターなど	1	2	3	4	5	6	7 []
⑥ 医師、民間のカウンセラーなど	1	2	3	4	5	6	7 []
⑦ 学校関係者など(教員・養護教員・幼稚園教諭、保育士、スクールカウンセラー)	1	2	3	4	5	6	7 []
⑧ その他 [具体的に:]	1	2	3	4	5	6	7 []
⑨ 相談しなかった(できなかった)	→ 付問2へお進みください						

付問2 問14付問1で⑨「相談しなかった（できなかった）」と回答した方におたずねします。
 あなたが相談しなかった（できなかった）理由はなんですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 相談する人がいなかったから
2. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから
5. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
6. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
7. 自分にも悪い所があると思ったから
8. 他人を巻き込みたくなかったから
9. 相談するほどのことではないと思ったから
10. 世間体が悪いと思ったから
11. 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
12. そのことについて思い出したくなかったから
13. 他人に知られると、これまで通りのつきあい（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから
14. その他 [具体的に：]

あなたの仕事・職場について、おたずねします

問15 あなたの職業（パート・アルバイトなどを含む。複数の職業をおもちの方は主なもの）はつぎのうちどれにあたりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

〔有職の方（自営業、自由業など）〕

1. 農林漁業
2. 商工サービス自営業
3. 自由業（開業医、著述業、芸術家など）
4. 家業の手伝い（家族従業）

〔有職の方（企業・団体に雇用されている方）〕

5. 経営・管理職
6. 専門・技術職（研究員、教員、裁判官、勤務医、看護師など）
7. 事務職（事務系会社員、事務系公務員など）
8. 技能・労務職（技能工、製造・建設作業員、運転手など）
9. 販売・サービス職（店員、外交員などの販売従事者、美容師、調理師、守衛などのサービス業従事者）

〔有職の方（その他）〕

10. 内職など
11. その他の職業 [具体的に：]

〔無職の方〕

12. 専業主婦・専業主夫
13. 学生
14. 無職

（1～11の方）
 問16へお進み
 ください

（12～14の方）
 問22へお進み
 ください